



国立国会図書館は開館70周年を迎えます

国立国会図書館は、平成30（2018）年に開館70周年を迎えます。

国立国会図書館は、昭和23（1948）年6月5日、国会議員の調査研究に資するため、「真理がわれらを自由にする」という理念のもとに、開館しました。初代館長は、日本国憲法の制定に多大な貢献をした憲法学者の金森徳次郎です。その源流は、帝国議会の衆議院図書館・貴族院図書館、そして上野の帝国図書館に遡りますが、開館当時は、旧赤坂離宮（現迎賓館）の仮庁舎が図書館の建物でした。昭和36（1961）年に現在の東京本館のうち、本館の第1期工事が竣工し（完成は1968年）永田町に移転、昭和61（1986）年には新館が完成しました。平成12（2000）年、旧帝国図書館の建物を引き継いだ支部上野図書館を改築して、国際子ども図書館が一部開館し、平成14（2002）年5月に全面開館。同年10月には京都府に関西館が開館しました。国立国会図書館はこれら3つの施設で役割を分担し、一体的に国会への立法調査サービスや図書館サービスを提供しています。



旧赤坂離宮「花鳥の間」（一般閲覧室）



初代館長 金森徳次郎

70年の間に収集する資料・情報の範囲や提供するサービスは大きく変わりましたが、主要な3つの役割は、開館以来変わることはありません。

1. 国会活動の補佐、
2. 資料・情報の収集・保存、
3. 情報資源の利用提供

国立国会図書館はこれからも、この3つの役割を果たし、豊かな未来の創造に貢献していきます。

開館 70 周年を記念して、下記のイベントを開催します。
記念シンポジウムや展示会は、無料でどなたでもご参加、
ご来場いただけます。



- 記念イベント

2018 年アジア太平洋議会図書館長協会 (Association of Parliamentary Librarians of Asia and the Pacific = APLAP) 東京大会

※協会加盟機関代表等による会議です。

- 記念シンポジウム

- ▶ 国立国会図書館支部図書館制度創設 70 周年記念国際シンポジウム

テーマ：イノベーションと公共部門の役割

日時：平成 30 (2018) 年 3 月 1 日 (木) 14:00~17:00

会場：国立国会図書館 東京本館 新館講堂

- ▶ 納本制度 70 周年記念国際シンポジウム

テーマ：納本制度の過去・現在・未来

—デジタル化時代における納本制度の在り方について—

日時：平成 30 (2018) 年 6 月又は 7 月に開催予定

※詳細は、順次下記ホームページでお知らせします。

- 記念展示会

「本の玉手箱—国立国会図書館 70 年の歴史と蔵書—」

国立国会図書館 東京本館：平成 30 (2018) 年 10 月 18 日 (木) ~11 月 24 日 (土)

国立国会図書館 関西館：平成 30 (2018) 年 11 月 30 日 (金) ~12 月 22 日 (土)

※それぞれの会場で、記念講演会を行います。

詳細は、こちらをご覧ください

国立国会図書館開館 70 周年記念のページ

URL : http://www.ndl.go.jp/jp/70th_anniversary/index.html

※イベント等の詳細が決まり次第、情報を追加していきます。

■ お問い合わせ先 ■

国立国会図書館 総務部 総務課 広報係 TEL : 03-3506-5103 (直通)